opusdei.org

希望とは何か(1)

聖年にあたり2024年11月に ローマにて行われた属人区長 フェルナンド・オカリス師に よる希望の徳についてのクラ スの内容を連載します。

2025/09/30

教皇フランシスコが発表した2025年の聖年を告げる大勅書は、聖パウロがローマ人への手紙で述べた言葉で始まり、その言葉が文書の題名にもなっています。「希望は欺かない」
「」、spes non confundit。この言葉は非常に深い意味を含んでいます。私

たちが真の希望を抱くとき、それは 決して欺くことがありません。私た ち自身は誤ることがあっても、希望 は誤ることがないのです。なぜな ら、神は私たちへの愛と約束に忠実 であられるからです。

確かに、時には私たちが望んでいた ことが実現しないこともあります。 たとえば、ある使徒職の活動が成功 することを願ったり、ある対話から 具体的な実りを期待したりしても、 その成果が現れないことがあるで しょう。では、そのとき希望は私た ちを欺いたのでしょうか?いいえ、 そうではありません。なぜなら、希 望は神の私たちへの愛に根ざしてお り、それゆえ私たちは聖ホセマリア ととも「失われるものは何もない」 四ことを確信することができます。 神のために行うこと、神の御旨に 沿って取り組むことは、たとえすぐ に成果が見えなくても、必ず実りを もたらすのです。別の仕方で、ある

いは別の時に、または来世で見ることになるかもしれません。あるいは、実るものが当初予想したものと異なることもあるでしょう。しかし、このようにして私たちは「失われるものは何もない」という確信を抱くことができます。

希望とは何か

希望とは「容易ではないが可能な将 来の善!が得られると信じるよう導 く徳です。ここには三つの要素があ ります。それは未来に関わるもので あり、困難を伴うものであり、しか も可能であるということです。これ らの条件を欠くものは希望とは呼べ ません。たとえば「明日、月に行く ことを希望する | と言うことはでき ません。それは不可能であり、無意 味な願望です。また難しくないこと を望むのも希望とは言えません。た とえば「三時間後に自宅にいるこ としは、厳密な意味での希望ではあ りません。もちろん100%確実なこ とは何もありませんが、人間的に見 て希望の対象とはならないものがあ るのです。

希望は基本的な人間徳でもあります。私たちは皆、何かを希望しています。働きの実りを望み、何らかの

善を望み、さまざまな状況が終わる さまず。しかし冒頭ではいる まではまた超自然ではいる を望い、希望はまで何でないでのは 神徳ではありますのはの一致いでが がっているですのがです。 でいるですの希望でする がっていることはでする がっていることはでする がっていることはたち がっていることはたち がってすることがそれる がってする がってする。 がったでする。 がったででする。 がったででする。 がったでする。 はったででする。 はったででする。 はったででする。 はったでする。 はったでな。 はったでな。 はったでなな。 はったでなな。 はったでななななななななななななななななななななななななな

人間としての希望は、すべての人の心に必ず存在します。教皇様何が記ます。「明日は何が記されます。「明日は何が望れたいとはいえ、希望と期待としてます。人間的に確定ものではないにせよ、不可能なものです。を待ち望むとなのです。

この人間が自然に有する希望を完成させ高めるのが超自然的な希望です。その対象は救い、すなわちかない。聖パウは「天に蓄えられている希望」」(4)と、言います。天国で待っている幸に到達するために到達するために対する信仰と、天に対する信仰と結びついてもなど)に対する信仰と結びついます。

望んでおられることであり、信仰と 愛と結びついているのです。

- [1] □-マ5·5。
- [2] 『鍛』278番。
- [3] フランシスコ、2025年通常聖年 公布の大勅書『希望は欺かない』1 番。
- [4] コロサイ1・5。
- [5] トレント公会議、第6総会、31 条。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/ocariz-class-hope1/(2025/12/11)